



やまなみ

山形市立大曽根小学校

学校だより

令和4年10月25日

校長

No.9 太田 千春

令和4年度 秋季大運動会 協力・全力・勇気 ～仲間とのきずなを深めよう～

10月15日（土）、気持ちのよい秋晴れの下、秋季大運動会が行われました。学年をまたいだ活動の制限が続く中、仲間との絆を深めたいという思いを強くもち、体育の時間を中心に練習や準備に取り組んできました。当日のみならず、その過程も含め、一人一人の成長が強く感じられる運動会となりました。

保護者、地域の皆様には、子供たちが仲間と協力しながら全力で、勇気をもって競技に取り組む姿に最後まで温かい御声援をいただき、本当にありがとうございました。



両組組頭挨拶



1年生80m走



2年生100m走



3年生100m走



4年生100m走



5年生100m走



フリーフリー 赤組！！



リズムダンス



リズムダンス



6年生100m走



がんばれ がんばれ 白組！！



リズムダンス



学年部対抗リレー



大玉転がし



実行委員長挨拶



持久走



優勝 赤組！！ 準優勝白組！！

学校創立121周年記念式典

令和4年10月20日（木）、PTA会長 岡崎真吾 様、同窓会長 阿部忠美 様に御臨席いただき、創立121周年記念式を行いました。本校は、明治7年に上反田村安養寺に学校が開かれ、明治34年10月20日、現在の場所に校舎を新築し大曽根尋常小学校と改称されてから121年という月日が流れました。現在の校歌は、創立50周年記念事業の一つとして、作詞を真壁仁氏に、作曲を丸子喜一氏に依頼し、昭和26年に制定されました。作詞するにあたっては、詩人の真壁仁氏が取材のため来校され、当時の職員と宿直室で夜遅くまで語り合ったことが記録に残されています。「歌わんよき友 しらべ高く 知識の庭に 花咲くつどいを」「歌わんよき友 しらべ高く 希望の窓の 楽しきつどいを」校歌に綴られた一節は、昔から現在へと連綿と続く、学校教育の理想の姿であると思います。

本校創立に尽力された方々の学校に寄せる願いや思い、そして、豊かな自然の中で「いのちを育む」精神を深く胸に刻みながら、「大曽根小だからできる教育は何か」「大曽根小だから必要な教育は何か」を常に考え、教職員一丸となって、一人一人の子供に「さまざまな変化に柔軟に対応し、未来を切り拓く力」の土台をしっかりと築いて参ります。保護者、地域の皆様には、今後ともこれまで同様の御支援と御指導を賜りますようお願い申し上げます。



校 歌

作詞 真壁仁
作曲 丸子喜一

一
かがやきの日よ 雪解けの
畔す水も 高なりて
ほのかに土は 香るとき
種時く春の 幸を胸に
歌わんよき友 しらべ高く
知識の庭に 花咲くつどいを
高原の風 吹きわたる
校舎に立ちて 朝雲を
色づく山を あおぐ日は
稔りの秋の 幸を胸に
歌わんよき友 しらべ高く
希望の窓の 楽しきつどいを

二

稔りの秋

「大曽根元気米」の収穫

田植えから4ヶ月が過ぎ、稔りの秋を迎えました。10月4日（火）、素晴らしい秋晴れの下、大木万之助様、庄司一朗様、佐藤昭雄様に御協力いただき、5・6年生が稲刈りを行いました。げんき学年が中心となって育てたお米は、食べたみんなが元気になってほしいという願いを込めて「大曽根元気米」と名付けられました。10月下旬に脱穀し11月5日（土）に開催予定の学習発表会で販売する予定となっています。どうぞ楽しみにお待ちください。

